



経堂バプテスト教会

教会短信

2016年2月7日

No. 67

牧師 間瀬 善彦

「あなたがたに平和があるように」(ヨハネ福音書 20 章 19 節)。

今年のイースターは、3月27日です。イースター(復活祭)は、キリスト教ではクリスマスよりも大切な日です。イエス・キリストがすべての人の罪の身代わりに十字架につけられ、死んで葬られた後、3日目に神の力で復活させられた日です。現在の暦で、金曜日に十字架に付けられて死に、日曜日に復活されました。このため、キリスト教会では、日曜日を「主の日」と呼んで、毎週教会に集まり、礼拝をささげているのです。

わたしが初めてイースターとはどういう日なのかを知ったのは、最初に行った教会のイースター記念礼拝でした。一度死んだ人がよみがえるということは、正直信じられない話でした。しかし、牧師の話をよくよく聞いてみると、イエス・キリストは、人間でもあり、また神の子でもあったというのです。そのイエスを、神は、その力でよみがえらせたというのです。もし、神という、何でもできる存在が実際にいるのであれば、これは不可能なことではない、と信じられるようになりました。

聖書に次のような話があります。イエスが人びとによって十字架につけられたとき、ほとんどの弟子たちは逃げ去ってしまいました。自分たちも捕らえられ、処刑されるかもしれないと思ったのでしょう。弟子たちは、1つの家に集まり、戸に鍵をかけて、不安におののいていたのです。そこへ、復活されたイエスが来られ、真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われました。この言葉は、自分たちも捕らえられ、イエスと同じようにされるのではないかと恐れおののく、弟子たちに対する励ましの言葉です。それと同時に、師であるイエスを裏切り、逃げ去ってしまった弟子たちへの赦しの言葉です。弱い弟子たちは、復活されたイエスの励ましと赦しの言葉を聞いて、再び立ち上がり、イエスの教えられた言葉と復活の出来事を大胆に宣べ伝えるようになっていったのです。

「あなたがたに平和があるように」。この言葉は、わたし自身を励ます言葉でもあります。気が弱く、罪の誘惑に負けやすいわたしを、励ます言葉、赦しの言葉として、いつも心に響いてくる言葉です。復活されたイエスは、今も生きて、わたしたちのために働いてくださいます。イエス・キリストが死んでしまったままであったら、わたしたちに希望はなかったでしょう。しかし、今や神の力で復活させられて、わたしたちのそれぞれ歩みを見守っておられます。それゆえ、イースターは希望の日なのです。

日々の歩み



昨年暮れ、三浦綾子著『旧約聖書入門』の「光と愛を求めて」を読んでいたとき、次のような文章に出会った。

「わたしは、昨日、台所で人参を切りながら思った。人参はどこを切っても人参だなあと。が、自分の生活は、はたしてどこを切ってもクリスチャンであろうか。自分の生活のどの断面でも、神をたたえ、神に従っているであろうか。— 後略 —」

さて、私はどうかと自分自身を省みた。教会の中では、自分の断面はどこを切ってもクリスチャンであろう。だが、私が入居している老人ホームへ帰ってしまうと、あるときは自分の断面は人参であったり、あるときは玉ねぎ、あるときはきゅうり、またあるときは老人の我がまま丸出しのときがある。

なぜこのようになってしまうのか？それは私たちが人間であり、罪に汚れているからだと思う。

入居している老人ホームでは、誕生会というものがある。誕生月の人びとは前方の席に並び、他の全員が該当者に向かって、「ハッピーバースディトゥユー」と歌って、拍手する。ある時、その中にAさんがいることに気がついた。私はその人と気性が合わなかった。私はその人に拍手を一つもしなかった。「ハッピーバースディトゥユー」も歌わなかった。Aさんは首をかしげて不思議そうな顔をしていた。そのときの私はクリスチャンではなかった。私は反省した。

翌日、エレベーターの中でAさんと二人きりになった。私はAさんの後ろからそっと肩に手を置き、「ハッピーバースディトゥユー」を歌い、右手を前に差し出して握手した。相手は目を丸くしてニコニコ笑って、「ありがとう」と小さな声で言ってくれた。

若かった頃、ある日私はクリスチャンであるにもかかわらず、日曜日教会の礼拝に行かないで、新宿のデパートへ洋服を買いに行った。白地に黒の縦縞のジャケットがあまりにも珍しく、マネキン人形が小粋に着ているのを金曜日の夕方に見つけたからだ。あの服はもう売れてしまったのだろうか。土曜日一日中、そのマネキンの姿が目には浮かんた。日曜日に行ってみたら、服はまだ売れていなかった。ところが、サイズが合わなかったので、結局買わずに帰った。

次の日曜日、教会で会った女性が、「あなた、先週の日曜日のお昼頃、デパートの婦人服コーナーの前で見かけた」、と言ったので、「いいえ、それは人違いよ。私はそこに行っていないわ」と、顔をそむけて返事した。その女性はクスクス笑って離れて行った。

教会の礼拝を休んで服を見に行ったことを、人に見られたことは恥ずかしいことだ。しかし、もっと恥ずかしいことは、自分の欲望に支配された瞬間、イエス様を脇にどかしてしまった罪深さである。これからの私の残り人生を、なるべく、どこを切ってもクリスチャアである生き方をしていきたい。

一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのみです。
しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。

(ヨハネ福音書 12 章 24 節)

一粒の麦を種として蒔くと、種類によって違いはあるものの収穫時には二十粒ほどに増えます。約二千年前、キリストは、自分を一粒の麦にたとえ、そのいのちを十字架上で犠牲にすることで、すべての人の罪を自らが担い、イエスを信じた人に永遠のいのちを与えるという神の計画を実行しました。日常生活でも、ある人が嫌な役を買って出てくれることで、その周辺の人が助かるということもあります。「あの人のために」という素朴な愛に基づいて行動することは、豊かな実を結ぶのではないのでしょうか。「聖書の品格」(いのちのことば社)より引用

イースター (3月27日)

イースター礼拝 午前 10 時 30 分～12 時



イースターは、復活祭です。イエス・キリストが十字架にかけられて殺され、埋葬された後、3日目の日曜日の早朝に復活されたことをお祝いする日です。キリスト教会では、キリストが復活された日曜日を「主の日」と呼んで、教会に集まり礼拝をします。

イースターは、「移動祝日」で、年毎に日が変わります。基本的には、春分の後の最初の満月の次に来る日曜日です。満月が日曜日になったら、次の日曜日に復活祭を行います。今年は3月27日の日曜日に、イースター礼拝を行います。どなたでも歓迎いたします。一緒にイースター礼拝を守りましょう。

聖書を学ぶ会

- 牧師から詳しく聖書を学びます。
- 讃美歌も歌い楽しい会です。

毎週火曜日 午後1時30分～2時30分

聖書研究・祈り会

- 静かな夕べに聖書を学びます。
- 共に祈り合います。

毎週水曜日 午後7時30分～8時30分

教会学校（幼児科）

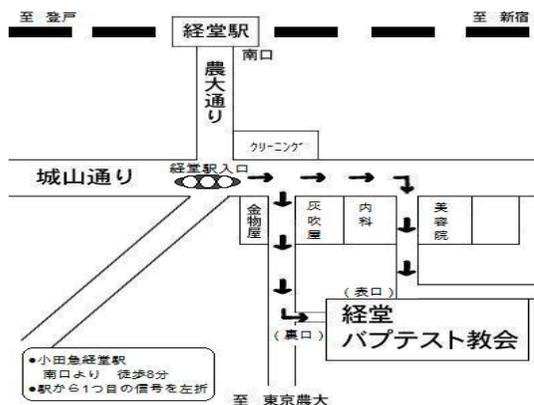
- かわいい讃美歌を歌って、聖書のやさしいお話を聞きます。お祈りもします。

毎週日曜日 午前10時～10時20分

教会学校（成人科）

- 礼拝の中で、牧師のお話を聞いて、感想や意見を述べ合います。わからないところは質問もできます。

毎週日曜日 礼拝後



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。